

① 僕は今までネットやパンフレットなどで早稲田大学について調べていましたが、学部
の定員数やセンターで必要な得点、偏差値などの数字の情報ばかりで、大学の中や風景な
どについて知りませんでした。今回実際に行ってみるとネットなどでは見ることはできな
い貴重な体験をすることができました。食事会の時、卒業生のお話を聞いて先輩たちが当時
どれほど努力をしていたかが分かりました。そして自分の努力が全然足りていないことを
改めて知りました。今回のこの経験を忘れずに勉強したいと思いました。

② 早稲田大学に行ってまず思ったことはすごく広いということだ、正直圧倒されてしま
った。早稲田キャンパスだけであの広さだから感心した。「こんなところで勉強をできるの
かぁ」と思い、早稲田に行きたいという気持ちがより一層強くなった。また城北の OB と
の会食では、「高1の時からどのような学習をすればよいか」、「どのくらいの時間や量を
やればよいか」という勉強面の話や、「早稲田の裏事情」、「サークルの雰囲気」などリアルな
早稲田の裏の顔を聞くことができた。皆、口をそろえて言われたことは、「結局、量」とい
うことだ。最後にどれだけの量（努力）をすることが大事かということを感じた。また、
高山先生の「頭のいい大学になればなるほど自由になる」という言葉が心に残った。これ
からはまず、「量」を増やしていきたい。

③ 僕が早稲田大学見学会で特に印象に残った点は2つあります。
1つめは、英語が大切だということです。1日目の夕食会での先輩からの話では、文系な
らば英語は必ずできないといけないということ、高1までは中学までの内容をしっかりし
ておくことや単語をしっかり覚えること、早慶対策の単語を買って覚えることなど聞きま
した。高1の残り少ない期間で単語と今までの中1からの復習をしようと思いました。
2つめは、現役の早稲田の学生が言っていたことで「18分勉強法」というのがありまし
た。集中力が長く続かない人に良い勉強法で、18分集中して勉強して2分休むことを3
回繰り返すと1時間、それを何度も繰り返すという勉強法でした。集中力がない僕はその
勉強法をこれからやっていこうと思います、1度にたくさんのはできないので、英語と
事とその勉強法の2つを真似てやってみることから始めようと思います。また、別の大学
にもオープンキャンパスに行ってみようと思いました。